

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	270500390		
法人名	株式会社大五舎		
事業所名	グループホームひまわり2		
所在地 (電話番号)	〒037-0061 青森県五所川原市雑田141-7 (電話) 0173-34-5346		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年1月21日	評価確定日	平成21年3月12日

【情報提供票より】(平成20年12月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年11月16日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	7 人
職員数	7 人	常勤 3人, 非常勤 4人, 常勤換算	5.43人

### (2) 建物概要

建物構造	木造モルタル造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	6000~冬期12,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(12月25日現在)

利用者人数	7 名	男性 1 名	女性 6 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	79.4 歳	最低	70 歳
		最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 守生会 中村整形外科医院
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街にある民家を改築したグループホームで各居室に馴染みの物が多く持ち込まれ、ゆったりと過ごしやすく、家庭的な暖かさが感じられる。理念に「利用者の思いを尊重し、日常生活に楽しみを見いだしながら、地域住民の一人として暮らしていけるよう支援していきます」を掲げ、職員は理念を基に利用者として接しているため、利用者の表情が良く、信頼関係が築かれており全体的に活気が見られるホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回改善となった「運営に関する家族等意見の反映」については投書箱を設置する等改善が見られるが、より意見を寄せてもらえるよう今後の取り組みに期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価事業の具体的な意義を理解し、自己評価を職員全体で作成している。また、外部評価の結果を踏まえ、全員で改善、向上に向け積極的に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には行政、地域、家族などが参加し、ホームでの出来事や取り組みを公表している。また、地域での出来事に関しての情報提供を受け、サービス向上に取り入れている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
	面会時などいつでも対応できる体制となっている。寄せられた苦情に対しては前向きに受け止め、運営に反映出来る体制である。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の行事に参加したり、事業所で行われる行事に近所の方を招待したりと地域の一員となるように継続的に努めている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らせるような理念を作り上げ、方針や目標の中に具体化している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケア会議やケアプラン作成においても理念を含めた話し合いがされている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会の行事(総会、花植えなど)に参加したり、事業所で行われる行事に近所の方を招待したりして、地域の一員となるように継続的に努めている。		今後、認知症の普及活動をより進めるためにもキャラバンメイトになるなどの取り組みが期待される。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価事業の具体的な意義を理解し、自己評価を職員全体で作成している。また、外部評価の結果を踏まえ、全員で改善、向上に向け積極的に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には行政、地域、家族などが参加し、ホームでの出来事や取り組みを公表している。また、地域での出来事に関する情報提供を受け、サービス向上に取り入れている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の議事録や外部評価結果等について報告をしているほか、サービスの向上・運営等について連絡相談を行っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者に利用している方がいる。職員は外部研修や内部での勉強会により、理解を深めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>いつでも活用出来るように一定の場所に資料を配置している。また、外部研修・内部研修を通じて職員も具体的な行為を理解しており、特に言葉掛けに注意している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時、契約書・重要事項説明書を十分説明すると共に、疑問点を尋ね、理解を得て捺印を頂いている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>通院前後に家族へ状況を報告している。また毎月ホーム便りを家族へ送り近況報告も欠かさない。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置しているほか、面会時などいつでも対応でき、運営に反映させることのできる体制である。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動はしないという事になっている。退職者が出る場合は利用者、家族に説明し、また引継ぎを充分行うことにより利用者への影響を最小限にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験年数や力量に応じて計画的に研修会への参加を促している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の行事に参加したり、招待したりして交流している。その際、意見交換等をしてサービスの向上につなげている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者がホームに来て生活しても不安にならぬように、馴染みの家具や日用品などを可能な限り持込んでもらっていただき、雰囲気を生活の場としてシフトしやすい環境を作る工夫をしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に過ごす中で、農作業や食事の準備、後片付けなどの場面に、利用者の意見が反映されるよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常生活での言動や表情を観察し、読みとったりする事により確認している。また困難な場合は御家族からの情報を得るようにしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃から利用者、家族の意向をとりいれてミーティングを行い、それをもとに介護計画を作成している。</p>		<p>介護計画は随時見直されているが、アセスメントも一緒に保管するのが望ましい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に一回介護計画の見直しをしている。又状況の変化に応じて見直しをしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院時に家族が送迎できないときにはホ - ム側でその介助をするなど、必要とされるときには柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>事業所のかかりつけ医はあるが、本人、家族の希望や状況により、他の医療機関の受診も支援している。その際、家族、かかりつけ医には結果報告している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化した場合の話し合いは行っている。また状況変化に応じて、家族やかかりつけ医と具体的対応について話し合われている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いについては本人・家族に説明し同意を得ている。利用者の誇りやプライバシーの保護に関しても職員はさりげなく気配りをした援助を行っている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日中は散歩、調理、掃除等、利用者のペースに合わせた過ごし方を支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物や食事の準備など利用者一人ひとりが出来ることを手伝ってもらったり、献立や調理の仕方など職員と一緒に考えたりして楽しい雰囲気作りを支援している。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望に応じた入浴支援をするとともに、失禁時などにも臨機応変に対応できる体制を整えている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員が一人ひとりの生活歴に合わせて、食事の後片付けや掃除のお手伝いなど些細なことでも声かけをし、生活意欲を引き出すような支援に努めている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	昼食や買い物、理容、美容など、利用者から希望があれば個別に日常的な外出の支援がなされている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>外部研修、内部研修を通して全職員の理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員の見守りのもと、日中、玄関は開放され、いつでも出入りできるようになっている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練は随時行われている。非常時には協力してもらえるよう近所の方の承諾は得ているが、訓練の参加には至っていない。</p>		<p>地域の方に訓練に参加してもらえるよう今後も働きかけていくことを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分摂取量は個人記録に記載されており、栄養管理については栄養士よりアドバイスを得ている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>施設内感染マニュアルを作成し、手洗い、うがいの徹底やインフルエンザの予防接種を実施している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>住宅を改修しているため、居間など利用者にとってくつろぎやすい広さである。また季節ごとの飾り付けをし、家庭的な雰囲気で居心地よく過ごせるように工夫している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人の使い慣れた家具を使いやすく配置したり、配偶者の位牌を持ち込んだりして、過しやすい環境作りの工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。